

一 ユビキタス社会の開拓者

今は、eビジネスとか、eコマースといった言葉を聞いた日々はない。同様に少し前までは耳慣れない感じが強かった「ユビキタス」という語も、最近ではすっかり耳に馴染んでしまった。「ユビキタス」とは社会のいたる所にIT(情報技術)が浸透し、その存在を意識せずにだれもが、いつでもどこでも、ごく日常的に利用している社会である。日本は既に「ユビキタス社会」に入ったと考えてもよいのかかもしれないが、その先導役の一人が、今回紹介する創屋株式会社代表取締役松村卓也氏である。

探訪 チャレンジ企業 43

ユビキタス社会の実現に向けて 「自己の色(カラー)」を発信する 創屋(株)：白山市(白山商工会)



代表取締役の松村卓也氏

同氏は、高専卒業以来ずっとコンピュータ関連の業務に携わり、創意を磨き、経験を蓄えてきた。そのスタートは県内のある大手企業である。そこで「ハイブリッドIC」と称する特殊なICの品質管理と製造管理を手掛け、十七年間勤めた後、小さなソフト会社に転職した。そこでは、ナンバー12として管理的業務の経験も積み上げたが、しかし「社会に向けて『自分の色』を発信したい」というかねてからの希望を実現すべく、本年二月遂に独立に踏み切り資本金五百万円で株式会社を設立した。新事業創出促進法に基づく確認株式会社(一定の手続を経れば、資本金は一千万円未満でもよい)である。本社は白山市河内町だが、開発室は入所が許された能美市旭台の「いしかわサイエンスパーク」内にある「クリエイティブラボ」において。

同社の目下の業務の中心は、OS(コンピュータの基本動作を司るプログラム)として、リナックスを搭載し、様々な機器に組み込んで、そ

ニリナックス上に活ける

同氏は、高専卒業以来ずっとコンピュータ関連の業務に携わり、創意を磨き、経験を蓄えてきた。そのスタートは県内のある大手企業である。そこで「ハイブリッドIC」と称する特殊なICの品質管理と製造管理を手掛け、十七年間勤めた後、小さなソフト会社に転職した。そこでは、ナンバー12として管理的業務の経験も積み上げたが、しかし「社会に向けて『自分の色』を発信したい」というかねてからの希望を実現すべく、本年二月遂に独立に踏み切り資本金五百万円で株式会社を設立した。新事業創出促進法に基づく確認株式会社(一定の手続を経れば、資本金は一千万円未満でもよい)である。本社は白山市河内町だが、開発室は入所が許された能美市旭台の「いしかわサイエンスパーク」内にある「クリエイティブラボ」において。



ボードコンピュータ

な「クノーピクス」導入や、それと一体としてのアプリケーション開発等のサービスも行い、また、サーバーの作動性向上のための「強化サーバー」も実施するなど、リナックスに関係することなら何でも手掛け、「困つたらまずは御相談を」という体制がユーローの大きな反響を呼んでいる。

三 創造の世界 —ソフト開発—

コンピュータソフトの開発は「調査」から始まって「現状分析」「システム設計」「プログラミング」「テスト」「運用」「評価」という手順を辿るが、どの工程をとっても、全て創意の塊であり、「創造だけが全てである」といふべきだ。同社のスタッフは、社名の「創屋」も「常にクリエイティブ(創造的)であり続けることを理念とすべく名付けられた。同社のスタッフは、これまで、数多くの業種で様々な経験を積んでいる。まさに一騎当千の兵(つわもの)であり、こ

れらの経験がそのまま同社の技術力の源泉となっている。市場での評価が高い所以である。

た好企画と言えるかもしれない。また身障者支援用の「音声認識システム」なども計画中である。

これらを一つ一つ完成させていくことがそのまま社会への大きな貢献となり、同社の仕事が繁盛すればするほど、確かにユビキタス社会は一步ずつ近づいてきているのだろう。夢一杯の楽しい会社である。

(お問い合わせ)



創屋(株)の事務所内

四 新しい挑戦

同社は最近「天国からの言葉」と名付けられた風変わりなサービスを開始した。不慮の事故等に備えて、自分の訴報を通知したい人名を登録しておき、実際にそのような事態が発生したとき、直ちにメールを発信する仕組みである。物騒な世相を反映し

TEL○七六一―五一―四八八一
FAX○七六一―五一―四八八一
URL:<http://www.souya.biz>

開発室
石川県白山市河内町
きりの里四十四番地
二二〇号室

ヤレンジ企業を応援していく
も計画に上っている。これら
とは別に、CDから起動して
直ちにリナックスが利用可能
りの商工会にお尋ねください。